

松本平タウン情報

3/29

(火曜日)

配達 29、30日

(週3回/火・木・土発行)

飲んでよいかな
酔ってよいかな
清酒 宴教 よいかな

栄村にも支援の手を

2日 安曇野でチャリティーコンサート



安曇野でのコンサート終了後、栄村住民も参加した演奏家との打ち上げ(昨年11月)

栄村との交流のきっかけは04年、同ホール友の会会員の一人、内山公雄さん(69)がつくった。県内最北端の豪雪地帯、人口2200人強の村が、高橋彦芳村長(当時)とともに雪地に合った政策や活動をしていることに感動。早速、長谷川芳治補助金に頼らず、過疎地に合った政策や活動をしていていることを知った長谷川館長らは、ピアニスト高橋多佳子さんら国内外で活躍するクラシックの演奏家を次々と紹介。安曇野から何人かで聴きに行くことでもありました。

そんな中で、栄村民がつくる「音楽にふれる会・ゆたか」が発足。度々安曇野へ足を運び、あづみ野ホール主催コンサートの後には出演者との打ち上げに顔を出すまでに。両者は「小ホール同士だからこそ、家族的な交流ができる。今後も助け合っていこう」と確認し合っていた。

12日に栄村を襲った地震。村災害対策本部の石沢清人さんは「被害の無い家は皆無」と被害の無い家は皆無」と確認し合っていた。

2日は松本市から折井清純さん(マンドリン)、井垣里沙さん(ピアノ)、丸山貴菜さん(フルート)、中尾和正さん(アコディオン)、「小林千恵子とチーム」(フラダンス)

安曇野市穂高のあづみ野コンサートホールは4月2日、「長野県北部地震(栄村)被災者支援チャリティーコンサート」を開く。ホールやホール友の会が6年前から、栄村民と絆を深めている縁で企画した。収益金と募金は「できれば直接栄村に届けたい」という。

(長田久美子)

ことでした。そんな中で、栄村民がつくる「音楽にふれる会・ゆたか」が発足。度々安曇野へ足を運び、あづみ野ホール主催コンサートの後には出演者との打ち上げに顔を出すまでに。両者は「小ホール同士だからこそ、家族的な交流ができる。今後も助け合っていこう」と確認し合っていた。

12日に栄村を襲った地震。村災害対策本部の石沢清人さんは「被害の無い家は皆無」と被

害の無い家は皆無」と確認し合っていた。

2日は松本市から折井清純さん(マンドリン)、井垣里沙さん(ピアノ)、丸山貴菜さん(フルート)、中尾和正さん(アコディオン)、「小林千恵子とチーム」(フラダンス)

が出演。安曇野市を活動拠点とする「ロイヤルハワイアンズ」と安曇野混声合唱団も舞台に。

同ホール初出演の中尾さん(45)は「東北や

関東も本当に大変だ

が、身近なところに手を差し伸べることも大切」と力を入れる。

午後2時開演。入場料1000円。同ホー

ル 82・6419